

上村左川 ウヘムラサキ 詩人、評論家。慶應二年十一月に父上佐國高岡郡佐川生れ、明治二十八年五月二十四日没（公六一九五）。本名貞子。夙もとこ「コト上陽新聞」の編輯に携はるも、坪内逍遙の発意ありて上京。博文館に入り、雑誌「コト中學世界」の主筆となる（助手に田山花袋がいた）。また「コト文藝俱樂部」等にも作品を發表。

著譯書「コト時事論說文範」(編、明治二十一年十一月)、二十日博文館「コト用百科全書」(、ドオデエ)「アルフオンヌ、ドデー」作「コト母の戀」

(譯、明治四十二年七月五日東京國民書院)等。

